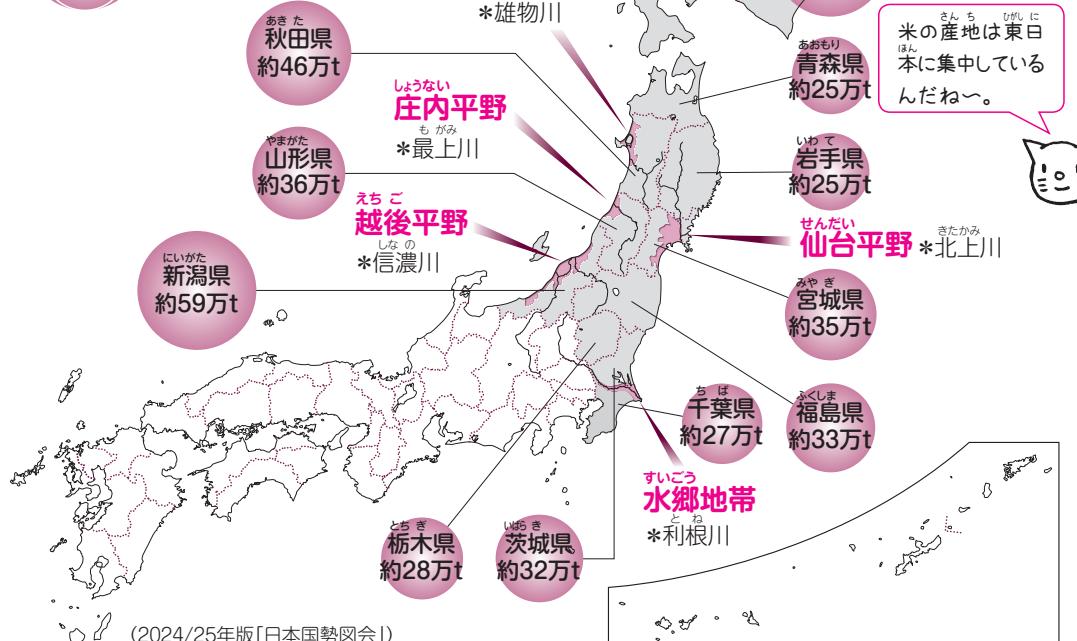
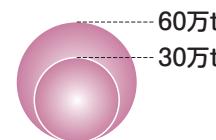




米の生産の多い都道府県と米作地帯

生産量20万t以上の都道府県(2023年)



(2024/25年版「日本国勢図会」)

- 米作りには大量の水が必要なため、大きな川の下流の平野や中流の盆地でさかん。
- 平野が少なく大きな川がない沖縄県や、耕地の少ない東京都などは生産量が少ない。



マスター問題

次の問題に答えましょう。

答えと解説…131ページ

(4) 米作りがとくにさかんな都道府県を2つ答えなさい。

(5) 次の①～④の道県で米作りがさかんな平野をそれぞれ答えなさい。

① 北海道 ② 宮城県 ③ 山形県 ④ 新潟県

(6) (5)の①～④の平野を流れる川を、次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 北上川 イ 信濃川 ウ 石狩川 エ 最上川

(7) 米の生産量が少ない都道府県を、次のア～エから2つ選び、記号で答えなさい。

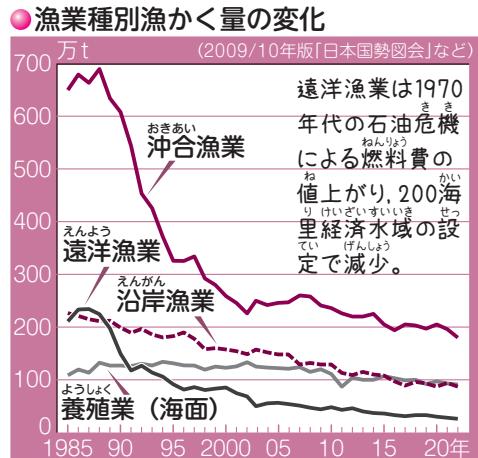
ア 栃木県 イ 東京都 ウ 千葉県 エ 沖縄県

とる漁業から育てる漁業へ



漁かく量の変化・水産物の輸入

- 沿岸漁業 … 日帰りでできる範囲で漁をする。さば、あじ、たらなど。
- 遠洋漁業 … 日本の200海里外で数十日から数か月かけて漁をする。まぐろ、かつおなど。
- 排他的経済水域 … 海の外で沿岸から200海里(約370km)内の水域のこと。水産資源や鉱産資源が沿岸国とのものとなる。
- 日本の漁かく量は世界有数だが、近年は減少しており、日本は世界一の水産物輸入国でもある。

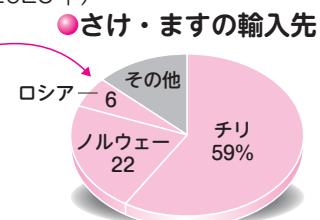
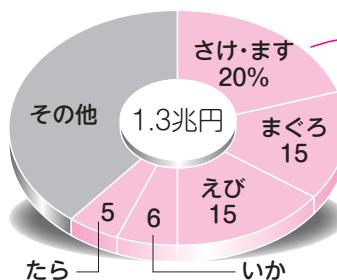


- 沖合漁業 … 数日かけて沖合いで漁をする。いわし、かれい、さんまなど。

育てる漁業 … 近年さかん。

- 養殖業 … いけすなどで魚や貝、海そうなどを育てて出荷する。
- 栽培漁業 … たまごから稚魚や稚貝を育てて、海や川に放流する。

水産物の輸入額の内わけ(2023年)



(2024/25年版「日本国勢図会」)



マスター問題

次の問題に答えましょう。また、〔 〕に入る

ことばをうめましょう。

- (1) 右のグラフは、漁業種別の漁かく量の変化を表しています。次の①～③にあてはまる漁業を、グラフ中のア～エから選び、それぞれ記号で答えなさい。
- ① 遠洋漁業
 - ② 沖合漁業
 - ③ 養殖業
- (2) グラフ中のイの漁業の漁かく量がへったのは、1970年代の〔 〕による燃料費の値上がりや、各国の〔 〕経済水域の設定などが大きな原因です。
- (3) 日本の水産物で輸入額が最も多いのは〔 〕で、〔 〕やノルウェーから輸入しています。



(2) 鳥取砂丘は砂浜海岸として日本一の広さをほこる。

(4) 北から南に流れる親潮(千島海流)とリマ
ン海流は寒流, 南から北に流れる黒潮(日
本海流)と対馬海流は暖流である。

7 2万5千分の1の地形図で1cmは実際
250m 19 ページ

- (1) イ (2) ウ (3) 南西
(4) 500m

解説 (1) 天神山のしゃ面には人の地図記号が
多く見られる。これは針葉樹林の地図記号
である。

(2) 等高線はその間隔が広いほど、しゃ面が
ゆるやかであることを表している。
(4) この地図の縮尺は2万5千分の1なの
で、実際のきよりは $2\text{ cm} \times 25000 = 50000\text{ cm} = 500\text{ m}$ 。

8 季節風は、夏は南東、冬は北西からふく
..... 20 ページ

- (1) 四季 (2) 南東, 雨, 北西, 雪
(3) つゆ(梅雨), 台風
(4) ①イ ②ウ ③ア

解説 (1) 四季とは、春・夏・秋・冬のこと。
(2) 季節風は山にぶつかることによって、そ
の手前側に雨や雪を降らす。
(4) ②瀬戸内地方は年間を通して雨が少ない
ため、干害がおこりやすい。

9 降水量のグラフは、太平洋側は凸型、日
本海側は凹型 21 ページ

- (1) ①イ ②カ ③ア
④オ ⑤エ ⑥ウ

解説 (1) ①の札幌は北海道の気候、②の東京
は太平洋側の気候、③の上越(高田)は日本
海側の気候、④の長野は中央高地の気候、
⑤の岡山は瀬戸内の気候、⑥の那覇は南西

諸島の気候にそれぞれ属する。

10 少子高齢化の人口ピラミッドはつぼ型 22 ページ

- (1) 80億, 1億2400万
(2) イ, つぼ型 (3) 少子高齢
(4) 第3次産業

解説 (2) アの人口ピラミッドはつりがね型、
ウの人口ピラミッドは富士山型。

(4) 第3次産業とは、商業やサービス業な
どのこと。いっぽんに経済や産業の
発展にともない、さかんな産業は第1次
産業(農業や水産業など)から第2次産業
(工業など)、そして第3次産業へと変わ
っていく。

11 東京・横浜・大阪・名古屋に人口が集中
..... 23 ページ

- (1) 横浜市, 大阪市, 名古屋市
(2) 政令指定都市
(3) ①横浜市, 川崎市, 相模原市(のうち2つ)
②福岡市, 北九州市
(4) (例) 交通渋滞, あるいは騒音
(5) 過疎(化)

解説 (2) 政令指定都市とは、大都市における
行政の運営を効率よく行うために指定され
た一定以上の人口をもつ都市。

(5) 人口がきょくたんに減少すると、病院や
学校が閉鎖されたり、バス路線が廃止され
たりして、生活ができにくくなる。

12 國土の約3分の2が森林 24 ページ

- (1) 3, 2
(2) 秋田すぎ, 青森ひば, 木曽ひのき
(3) 天竜すぎ, 尾鷲ひのき, 吉野すぎ
(4) 緑のダム (5) ベトナム
(6) 農業用水



- 解説** (1) 日本の森林面積は約2500万haで、
国土全体の約3分の2をしめる。
- (2)(3) 木曽ひのきは長野県、天竜すげは静岡
県、尾鷲ひのきは三重県、吉野すげは奈良
県に広がっている。
- (5) 木材はほかにもカナダやロシアからの輸
入が多い。
- (6) ほかにも水は生活用水、工業用水に使わ
れる。

⑬ 東北・北陸地方は「日本の米ぐら」25～26ページ

- (1) 日本の米ぐら(穀倉)
- (2) ①東北 ②北陸 ③北海道
- (3) 北陸、水田単作地帯、品種改良
- (4) 新潟県、北海道
- (5) ①石狩平野 ②仙台平野
③庄内平野 ④越後平野
- (6) ①ウ ②ア ③工 ④イ
- (7) イ、エ

- 解説** (4) 新潟県・北海道について、秋田県・
山形県・宮城県などでも、米の生産量が多
い。
- (5) ①北海道ではほかにも上川盆地などで米
の生産がさかん。
- (7) イの東京都は耕地が少ないため、工の沖
縄県は平野が少なく大きな川がないため、
米の生産量が少ない。

⑭ 中ぼしやアイガモ農法でおいしい米作り27～28ページ

- (1) ①工 ②イ ③ア
- (2) ウ (3) 根、養分
- (4) ③→①→② (5) 減反政策
- (6) 転作 (7) 自由化
- (8) タイ (9) コシヒカリ
- (10) ①北海道 ②山形県 ③宮城県
- (11) たい肥

- 解説** (1) ウの農薬をまいて雑草をからすの

- は、除草とよばれる作業のこと。
- (2) アは田植え機で田植えのとき、イはコン
バインで稲かりのとき、ウはトラクターで
田おこしやしろかきのときに使われる。
- (6) ほかにも減反政策では、耕作を休む休耕
が行われた。
- (7) 米の輸入自由化は外国から強く要望され
ていた。
- (9) ついでひとめぼれ・ヒノヒカリ・あきた
こまちなどの作付面積が多い。

⑮ 暖かい地方で促成栽培、すずしい地方で 抑制栽培29～30ページ

- (1) 近郊農業 (2) コールドチェーン
- (3) 促成栽培 (4) ウ
- (5) (例) ほかの産地からの出荷が少な
いため、高い値段で売れるから。
- (6) ①ウ ②ア ③イ ④工
- (7) ①北海道 ②埼玉県
③栃木県

- 解説** (1) 大都市の周辺では、作った野菜を新
鮮なまま早く、輸送費を安く出荷できる利
点がある。
- (4) ウは高知平野で、ビニールハウスが立ち
並んでいる。促成栽培はほかにも宮崎平野
などでもさかん。
- (5) 抑制栽培は夏でもすずしい気候を利用して、
出荷時期をおくらせる。高冷地農業ともいう。
- (6) ①④では促成栽培がさかんな高知県や宮
崎県が上位にきていることに注目。②③では
抑制栽培がさかんな群馬県や長野県が上
位にきていることに注目。
- (7) たねぎは北海道の生産量がダントツ。
ねぎはいたみやすい野菜なので、近郊農業
がさかんな県が上位にくる。いちごは「と
ちおとめ」などの品種が有名な栃木県。

16 みかんは暖かいところ、りんごはすずしいところ

31～32ページ

- (1) ①工 ②イ ③ウ ④ア
- (2) おうとう(さくらんぼ) (3) 輸入自由化
- (4) 茶
- (5) ①さとうきび、工
②てんさい、ア ③い草、ウ
- (6) 北海道、鹿児島県
- (7) 大豆、アメリカ合衆国

解説 (1) ぶどうとももはともに山梨県が1位であるが、ぶどうは2位に長野県、ももは2位に福島県がきていることに注目。みかんは上位3県をおさえておこう。(4) 静岡県や鹿児島県、三重県などがふくまれていることに注目する。(7) 小麦は輸入のほとんどがアメリカ、カナダ、オーストラリアの3国でしめられている。

17 乳牛は北海道、肉牛・ぶたは南九州

33ページ

- (1) ①ウ ②工 ③イ ④ア
- (2) 自由化、飼料

解説 (1) ①と②は鹿児島県と宮崎県がともに上位であるが、①は大消費地に近い群馬県が上位に来ていることからぶた、②は岩手県が3位に来ていることから肉用若鶏と判断する。③と④はどちらも北海道が1位であるが、④は栃木県が上位にきていることから乳牛、③は鹿児島県や宮崎県が上位にきていることから肉牛と判断する。

18 集約的農業と米の生産額の減少

34ページ

- (1) 集約的農業、高齢化
- (2) ①イ ②ウ ③ア
- (3) ①イ ②ウ

解説 (1) 集約的農業は多くの人手と肥料を使って、単位面積当たりの収穫量をあげようとする農業。

(3) ①は米の割合が大きいこと、②は畜産物の割合が大きいことに注目する。

19 干拓やかんがい用水で農地をひらく

35ページ

- (1) ①八郎潟 ②児島湾 ③有明海
- (2) 客土
- (3) ①愛知用水 ②香川用水
③安積疏水

解説 (2) 石狩平野は客土を行ったことで、全国有数の米の生産地となった。

(3) 愛知県を流れる3つの用水路は混同しやすいので、要注意。知多半島を流れるのが愛知用水、岡崎平野を流れるのが明治用水、渥美半島を流れるのが豊川用水。

20 とる漁業から育てる漁業へ

36～37ページ

- (1) ①イ ②ア ③工
- (2) 石油危機、排他的
- (3) さけ・ます、チリ
- (4) 潮目(潮境) (5) 大陸だな
- (6) ①釧路港 ②銚子港 ③焼津港
- (7) ●かき ▲真珠
- (8) はえなわ、まきあみ

解説 (1) 遠洋漁業は1980年代後半に漁かく量が大きくへっていることからイ、沖合漁業は以前に比べ、漁かく量を落としているが、現在も漁かく量がトップであることからア、養殖業は徐々に漁かく量を増やしていることから工と判断する。

(2) イは遠洋漁業で、日本の200海里外で漁をするため、燃料費の値上がりや排他的経済水域の設定の影響を強く受けた。

(5) 東シナ海とは日本の西、南西諸島とユーラシア大陸にはさまれた海。

(7) ●は宮城県の松島湾や仙台湾、広島県の広島湾にみられることからかき、▲は三重県の志摩半島、愛媛県の宇和海などにみられる事から真珠と判断する。

21 日本の食料自給率は約40%

38 ページ

- (1) 40
- (2) ①ウ ②ア ③エ ④イ
- (3) ①エ ②イ ③ア ④ウ

解説 (1) 日本の食料自給率は先進国の中でも特に低い。

- (2) ②は1990年ごろ特に落ち込みがはげしいことから、このころ輸入が自由化された肉類と判断できる。④は自給率が1桁であることからほとんどを輸入にたよる大豆と判断できる。
- (3) ①は中国や韓国が上位に来ていることから野菜、②③④はいずれもアメリカが1位であるが、②はカナダやオーストラリアから小麦、④はブラジルやカナダから大豆、残った③がとうもろこし。

22 重化学工業が日本の工業の中心

39 ~ 40 ページ

- (1) 重化学、軽 (2) 重化学工業
- (3) 鉄鋼(業) (4) 化学工業
- (5) せんい工業
- (6) ①工, キ ②イ, シ ③ク, サ
④カ, コ ⑤ア, ケ ⑥ウ, オ
- (7) ③→④→②→①
- (8) (例) 作業が危険なため。
- (9) 流れ (10) 関連(協力)
- (11) 中国, アメリカ合衆国
- (12) 豊田市, 企業城下町

解説 (4) 化学工業は石油をおもな原料に、合成ゴムや化学せんいを作る。

(5) せんい工業は綿花や羊毛を原料に、衣類や糸などをを作る。

(9) 分業による流れ作業で効率化をはかつている。

(11) 中国とアメリカについて日本が3位である。

23 鉄鋼・石油化学は臨海部、ICは空港・高速道路付近

41 ~ 42 ページ

- (1) ●製鉄所 (2) 石油化学コンビナート
- (2) 原料 (3) オーストラリア
- (4) 小型, 高い, 空港
- (5) シリコンアイランド
- (6) ①オ ②イ ③カ
④ア ⑤ウ ⑥エ
- (7) ⑥

解説 (1) ●は北海道の室蘭市や福岡県の北九州にも見られることから製鉄所、●(赤い丸)は東京湾周辺に集中していること、山口県の周南市などに見られることから石油化学コンビナートと判断する。

- (2) 原料の石油や石炭は大変かさばるため、船で運ばれる。
- (7) 東京や埼玉、大阪などの大都市がある地域が上位であることから判断する。

24 日本の工業は加工貿易で発展

43 ページ

- (1) 重化学工業 (2) 加工貿易
- (3) 現地生産 (4) 空洞化
- (5) ①ウ ②ア ③イ
- (6) 低く、少ない

解説 (5) 工場の数では中小工場がかなり多いが、出荷額はあまり変わらない。

25 国が伝統的工芸品を指定

44 ページ

- (1) ①南部鉄器 (2) 宮城伝統こけし
③輪島ぬり (4) 西陣織
- (2) イ

解説 (2) 伊万里・有田焼や唐津焼が有名な佐賀県、赤津焼が有名な愛知県、信楽焼が有名な滋賀県などから、焼き物と判断できる。

26 工業地帯・地域は太平洋ベルトに集中

45 ~ 46 ページ

- (1) 太平洋ベルト
- (2) ①豊田(市), 横浜(市)
②四日市(市), 川崎(市)
③東京 ④瀬戸(市)
- (3) ①イ ②ウ
- (4) ①ウ ②イ ③ア
- (5) 八幡製鉄所

解説 (3) ①金属工業の割合が高いグラフを探す。②食料品工業の割合が高いグラフを探せばよい。

27 関東内陸・東海は機械、瀬戸内・京葉は化学

47 ~ 48 ページ

- (1) 関東内陸工業地域
- (2) 瀬戸内工業地域 (3) 自動車工業
- (4) 工
- (5) ①工 ②ア
- (6) ①ア ②イ ③ウ (7) うめ立て

解説 (4) 工は倉敷市で、この都市の水島地区には大規模な石油化学コンビナートがある。
(5) ①機械の割合が高いグラフを探す。②化学の割合が高いグラフを探す。
(6) 製紙・パルプ工業は水のきれいなところである。

28 原油はほとんど中東地域から輸入

49 ページ

- (1) ①サウジアラビア ②オーストラリア
③インドネシア ④マレーシア
- (2) ①水力発電 ②火力発電
③原子力発電

解説 (1) 原油はほぼ中東(西アジア)の国々から輸入されている。

(2) 火力発電が現在の発電の中心であること、水力発電は大きく割合をへらし、原子力発電は大きく割合をのばしていることをおさえよう。

29 水俣病は有機水銀、イタイイタイ病はカドミウム

50 ページ

- (1) 騒音
- (2) ①有機水銀 ②イタイイタイ病
③四日市ぜんそく ④阿賀野川
- (3) 環境省 (4) リサイクル

解説 (3) 1971年に環境庁が設置され、2001年に環境省となった。

(4) ほかにも環境問題対策として、家電リサイクル法などが定められている。

30 輸出は自動車、輸入は石油に着目!

51 ページ

- (1) 黒字 (2) 石油(原油)
- (3) 自動車
- (4) ①工 ②ウ

解説 (1) 輸出額が輸入額を上回ることを貿易黒字、逆に輸入額が輸出額を上回ることを貿易赤字という。

(4) ①中国が圧とう的な割合をしめていることから衣類。②中国やアメリカ、ロシアなどが上位であることから魚介類。

31 二大貿易相手国は、中国・アメリカ

52 ページ

- (1) まさつ (2) 現地生産
- (3) ①中国(中華人民共和国)
②インドネシア
③アメリカ(合衆国)
④オーストラリア

解説 (2) 現地生産のほかにも、輸入自由化な